

講義名	業界研究（サービス業）/企業論特別講義（サービス業）				授業形態	
担当教員	金 承珠／辻本 乃理子／西村 典芳	開講期・曜日・時間	後期 水曜日 3 時限			
		単位数	2	履修開始年次	2 年生	ナンバリング・コード SSP243

主題と概要
この講義では、サービスの視点から業界全体の構造や動向を理解し、自分の興味のある業界を見つけていくことを目指します。 サービスと聞くと、サービス業（第三次産業）ということばが思い浮かぶかもしれませんが、人々が生活するうえで必要なものを生み出したり提供したりする経済活動（産業）が、作物を作ったりする農林漁業（第一次産業）から、物の加工（第二次産業）、サービス業（第三次産業）へと現代日本では移り変わっていったということは、よく言われることです。 これに加えてこの講義では、サービスという語をより広い意味でとらえ、企業が提供する商品を、有形か無形か、モノかサービスかに関わらず、すべての経済・経営活動を「サービス」として包括的にとらえる考え方（サービス・ドミナント・ロジック）を採用します。つまり、どのような業種・業態にも「サービス」概念が内包されていて、企業マネジメントにおける「サービス」の位置づけや役割、重要性について、みなさんが理解することを重視することです。 企業において「サービス」に関わってこられた社会人や経営幹部の方に、それぞれの業界の現況、業務内容、それから今後の社会では特に重要な、ダイバーシティ推進（女性活躍、育休活用、障害者やLGBTQサポートなど）についてどのような取り組みを行っておられるか、講義していただく予定です。

到達目標
a. 知識・理解 - サービスの視点から業界全体の構造や動向、企業の活動を理解することができるようになる。 - これからのサービスがどのように変わっていくかを理解できるようになる。 b. 思考・判断 - 企業マネジメントの働いている点を説明できるようになる。 - 企業のイノベーションについて述べることができるようになる。 c. 技能・技術 - 学んだ企業マネジメントを他業種の企業に適用することができるようになる。 - 自分のキャリアにおいて進みたい業界・業種について理解または比較できるようになる。

提出課題
毎回の講義についてレポートを書いてもらいます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
課題レポートには、授業で学んだ重要な点や最も印象に残ったことを書いてもらいます。講師に対する質問は後日確認のうえ可能な限り解答します。

評価の基準
毎回のリアクションペーパー100%とし、総合評価とします。なお、欠席、遅刻は平常点の減点対象とします。

履修にあたっての注意・助言他
- 社会人、さらに企業や団体の経営幹部をお招きしての講義です。 - 通常の講義でも当然ですが、私語や居眠りは厳禁です。これについては厳しく対処します。 - 講義中の内容のある質問は加算します。

教科書
.使用しない.

参考図書
.なし.

その他
各講義で配布されます。

授業計画
本講義は、後期に授業を開講する関係で、現在ゲスト講師の調整を行っています。ゲスト講師（講演者）が企業・事業関係者のため、日程変更の可能性あります。 1. イントロダクション（よい会社とは） 2-15. ゲスト講師（講演者）の講演 予習内容：各企業業界について自分なりに情報を収集して考えをまとめておく。（60分） 復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理し、指示された課題に取り組む。（180分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）			
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
○	キ：その他（A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
コメントへの次週フィールドワーク等を行う。			

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
企業での経営・経済活動を有する方に講義をしていただき、大学で学ぶ知識の活用、人との協働により目標を達成する方法を学ぶ。業界全体のイメージをつかみ、自分のキャリアを考えるきっかけにできる。

--

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
クリッカー等を活用した参加型授業やQRコードを読み取り、アンケートに答えてもらいながら、学生の理解を深める授業などを展開する。

実務経験の有無及び活用
実務経験あり

備考
- 外部招聘講師のテーマと担当日程が決まり次第、公開します。 - 新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの修正が発生する可能性がある